

健康福祉部
健康増進課

1 経過

(1) 県と市町村との連携による健康づくりに関する懇談（30年12月25日）

○知事と5市町村長が懇談し、県と市町村が県民の健康づくりを一緒に取り組むことを確認

(2) 県と市町村の連携による健康づくり打合せ（31年1月17日）

○県健康増進課と市町村事務担当者で、どのような分野でどのような取組を一緒に進めるか検討

2 会議の設置

「長野県 自治力による健康づくり推進会議」（31年3月13日設置）

3 目的

県と市町村とが、県民の健康課題を共有するとともに、健康づくり県民運動「信州ACE（エース）プロジェクト」を一体となって取り組むことをとおして県民の健康づくりを推進し、県民の健康寿命を延伸する。

●役割

県と市町村が連携して取り組む県民の健康づくりに関する課題の把握、取組の方向性の確認と実施結果に対する評価

●構成

	構成員	オブザーバー
市町村	市：健康福祉担当部長 （長野市、松本市他 計3市） 町村：健康づくり担当課長 （1町、1村）	中核市の保健所 （保健師、管理栄養士）
県	健康福祉部長、健康増進課長	10保健福祉事務所 （保健師、管理栄養士）

●31年度からの取組テーマ

別紙のとおり

4 今後の予定

(1) 「長野県 自治力による健康づくり推進会議」において、県・市町村の取組好事例等を共有（今年秋）

(2) 「県と市町村との協議の場」において取組状況等を報告（次年度以降）

11月の主要な出来事

11月の見通し

11月の見通し

11月の見通しは、10月と同様に、先行指標の悪化による景気減速の懸念が依然として残っている。ただし、10月の先行指標の悪化は、11月の先行指標の悪化よりも軽微なものであると見られる。

11月の見通し

11月の見通しは、10月と同様に、先行指標の悪化による景気減速の懸念が依然として残っている。ただし、10月の先行指標の悪化は、11月の先行指標の悪化よりも軽微なものであると見られる。

11月の見通し

11月の見通し

11月の見通しは、10月と同様に、先行指標の悪化による景気減速の懸念が依然として残っている。

11月の見通し

11月の見通しは、10月と同様に、先行指標の悪化による景気減速の懸念が依然として残っている。ただし、10月の先行指標の悪化は、11月の先行指標の悪化よりも軽微なものであると見られる。

11月の見通し

11月の見通しは、10月と同様に、先行指標の悪化による景気減速の懸念が依然として残っている。ただし、10月の先行指標の悪化は、11月の先行指標の悪化よりも軽微なものであると見られる。

11月の見通し

11月の見通し			
先行指標	景気減速	景気回復	景気停滞
11月の先行指標	10月の先行指標	11月の先行指標	10月の先行指標
11月の先行指標	10月の先行指標	11月の先行指標	10月の先行指標

11月の見通しは、10月と同様に、先行指標の悪化による景気減速の懸念が依然として残っている。

11月の見通し

11月の見通しは、10月と同様に、先行指標の悪化による景気減速の懸念が依然として残っている。ただし、10月の先行指標の悪化は、11月の先行指標の悪化よりも軽微なものであると見られる。

11月の見通しは、10月と同様に、先行指標の悪化による景気減速の懸念が依然として残っている。



平成31年度からの取組テーマ（平成31年3月13日 長野県自治力による健康づくり推進会議 取りまとめ）

テーマ	現状・目標（2023年）	取組の方向	今後の取組（>: 県の支援）
①身体活動	<p>▷運動習慣のある者の割合（2016年） 男性（20-64歳）：21.8% 女性（20-64歳）：9.6%</p> <p>【目標】 男性（20-64歳）：36% 女性（20-64歳）：33%</p>	<p>運動習慣の形成、定着を図る。 15～20分程度の運動量の増加を図る。</p>	<p>○継続して続けられる運動習慣への支援 ▷新しい運動手法の紹介（講師の紹介、派遣） ○働き盛り世代の健康づくりチャレンジ大作戦グランプリ2019による運動継続支援 ▷ウォーキングイベントの連携実施 ○自転車を活用した健康増進の推進</p> <p>【取組事例】 歩こうBIZ・CycleBIZ（松本市） インターバル速歩の推進（松本市、岡谷市）</p>
②特定健診の受診促進	<p>▷特定健診受診率（2016年） 全体：56.0%（全国6位） 国保：45.8%（全国3位） 【目標：全体70%】</p> <p>▷特定保健指導実施率（2016年） 全体：28.4%（全国5位） 国保：55.6%（全国4位） 【目標：全体45%】</p>	<p>特定健診の受診と保健指導実施の促進</p>	<p>○未受診者対策等 ▷薬局や保険者協議会等関係団体と連携した取組の推進 ▷医療機関との連携による未受診者対策の推進</p> <p>【取組事例】 自治会等各種会合で特定健診の必要性を周知、地区ごとの受診率成果を公表（喬木村） 子どもの頃から始まる寝たきり予防（各世代に応じた保健指導の実施）（喬木村）</p>
③糖尿病性腎症重症化予防の取組の推進	<p>▷糖尿病性腎症による新規透析患者数（2016年） 273人 【目標：219人以下】</p> <p>▷糖尿病性腎症重症化予防プログラム（一定基準による）による取組を行う市町村（2018年） 73市町村 【目標：77市町村】</p>	<p>糖尿病性腎症の重症化予防のためのハイリスク者に対する受診勧奨と保健指導</p>	<p>○若い世代への早期介入による重症化予防 ○後期高齢者の重症化予防 ▷県内各圏域における推進体制の強化 ▷糖尿病性腎症重症化予防アドバイザーの派遣による取組の推進 ▷糖尿病性腎症重症化予防パンフレットの作成</p> <p>【取組事例】 かかりつけ医と薬局が連携した保健指導の実施（松本市）</p>

テーマ	現状・目標 (2023年)	取組の方向	今後の取組 (>: 県の支援)
④減塩・野菜摂取	<p>▷塩分摂取量 (2016年) 男性: 11.8g (全国3位) 女性: 10.1g (全国1位) 【目標: 男性8g 女性7g】</p> <p>▷野菜摂取量 (2016年) 男性: 352g (全国1位) 女性: 335g (全国1位) 【目標: 350g】</p>	<p>脳血管疾患のリスクを下げるための塩分摂取量減少と心筋梗塞や高血圧などを予防するための野菜摂取</p>	<p>○健康に配慮した食環境の整備 ▷健康に配慮した食事の普及啓発 (3つの星レストラン、ACEメニュー) ▷減塩食品の製造・販売等企業との連携協力依頼 ○減塩の実践への支援 ▷減塩モデル事業の結果を活用した市町村の取組への支援 ▷栄養成分表を活用した食品選択の啓発 ○減塩の普及啓発 ▷減塩の日等テーマと時期を決めた広報</p> <p>【取組事例】 長野ベジライフ宣言「ハッピーかみんぐ1.2.30」(長野市) 健診での塩分測定、加工食品の減塩食品の利用(池田町)</p>
⑤フレイル予防	<p>▷健康寿命 ●日常生活に制限のない期間の平均 (2016年) 男性: 72.11年 (全国20位) 女性: 74.72年 (全国27位)</p> <p>●日常生活動作が自立している期間の平均 (2016年) 男性: 80.55年 (全国1位) 女性: 84.60年 (全国1位)</p> <p>【目標: 全国1位】</p>	<p>加齢により筋力や認知機能が低下し、生活機能障害、要介護状態となることを防ぐため、適切な介入を行う</p>	<p>○住民を対象とした啓発 ▷啓発パンフレットの作成、配布 ○フレイルチェックを行う体制の構築 ▷モデル事業によるフレイルチェックを行う体制構築支援 ○健康ボランティアの協力を得て地域におけるフレイル予防の推進 ▷健康ボランティアを対象とした研修の実施 ○オーラルフレイル対策の教室等の実施 ▷歯科専門職の派遣</p> <p>【取組事例】 長野市版フレイルチェック・ガイド(長野市) 高齢者の閉じこもりへの対応(カラオケなど)(松本市)</p>
⑥受動喫煙防止	<p>▷健康増進法の一部を改正する法律が公布され、2020年4月1日から全面施行</p>	<p>健康増進法に基づく受動喫煙防止対策を推進 家庭内での受動喫煙防止の促進</p>	<p>○改正健康増進法に基づく受動喫煙防止対策 ○家庭内・自家用車内での禁煙PR ▷禁煙セールスマンによる啓発、保健師・保育士・養護教諭等関係者との連携協力 ○禁煙週間等広報誌(広報ながの・市町村広報)への掲載 ○世界禁煙デーにおける連携した取組</p> <p>【取組事例】 受動喫煙防止の強化、歩きたばこの禁止等(長野市、松本市)</p>